

第四十五回帝國議會

身元保證ニ關ルス法律案外三件

身元保證ニ關スル法律案
家産法案
裁判所構成法中改正法律案
民事訴訟法中改正法律案

委員會會議錄(筆記)第一回

委員會成立

本委員ハ大正十一年二月十八日議長ノ指名ヲ以テ左ノ通り選定セラレタリ

高見 之通君 大道寺慶男君 高柳淳之助君

大島實太郎君 久木田 叶君 太田信治郎君

井上 剛一君 森山儀文治君 上島益三郎君

同月二十日午後一時十五分委員長理事互選ノ爲各委員參集ス其ノ氏名左ノ如シ

高見 之通君 大道寺慶男君 高柳淳之助君

大島實太郎君 久木田 叶君 太田信治郎君

井上 剛一君 上島益三郎君

年長者久木田叶君投票管理者トナル

○久木田投票管理者ハ委員長及理事ノ互選ヲ行フヘキ旨ヲ宣告ス

○高柳委員ハ投票ヲ用キス高見之通君ヲ委員長ニ大道寺慶男君ヲ理事ニ推薦スヘシトノ意見ヲ提出ス

○久木田投票管理者ハ高柳君ノ意見ニ異議ナキヲ認メ高見之通君ハ委員長ニ大道寺慶男君ハ理事ニ當選シタル旨ヲ宣告ス

〔高見之通君委員長長席ニ着ク〕
○高見委員長 就任ノ挨拶ヲ述べ散會ヲ宣告ス
于時午後一時二十分

會議

大正十一年二月二十二日午前十時五十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 高見 之通君

理事 大道寺慶男君

高柳淳之助君 大島實太郎君

上島益三郎君 久木田 叶君

同日二十日委員井上剛一君辭任ニ付其ノ補闕トシテ森達三君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

司法省民事局長 池田寅二郎君

司法書記官 皆川 治廣君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

身元保證ニ關スル法律案

家産法案

裁判所構成法中改正法律案

民事訴訟法中改正法律案

○高見委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、此委員會ニ付託サレテ居ル法案ハ、身元保證ニ關スル法律案、ソレカラ家産法案、大道寺君提出ノ民事訴訟中改正法律案、及裁判所構成法都合四件アルノデアリマス、先ヅ其中身元保證ニ關スル法律案カラ審議致シタイト思ヒマス、差支ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○高見委員長 提出者ノ上島君カラ説明ヲ求メテ、ソレカラ必要ニ依ッテ當局ノ意見ヲ徵シ、質疑應答ヲ致シタイト思ヒマスガ、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○上島委員 是ハ過日大體説明シテ置キマシタヤウニ、雇人ヲ使用スルニ當リテ、身元保證人ト云フモノヲ立テシムル慣習ガアル、其保證人ニ立ツタ以上ハ、何十年經テモ其義務ヲ繼續スル、又金額ニ制限ガアリマセヌカ、何十萬圓、何百萬圓デモ、矢張其賠償ヲシナケレバナラヌト云フ、過大ナ任務ニ服シテ居ルノデアリマスカ、之ヲ適當ニ制限スルト云フコトハ、實際上屢々、其必要ヲ感ズル所デアリマシテ、今日ノ儘ニ放任スルコトハ、法律行爲ノ過大ナル效力ヲ無益ニ使用セシムルモノデアリマスカ、本案ヲ提出シタ次第デアリマス、其他ノ事ハ御質問ニ依リマシテ申上ゲマス

○高見委員長 如何デスカ、是ハ昨年モ此法案ガ出テ、而シテ決議ニナッタ管デアリマス、念ノ爲メ政府ノ意見ヲ聽イテ置キマスカ、必要ハアリマセヌカ

○久木田委員 此理由書ニ依ッテ見マスト、商工業者ノ人ノ雇入ノ場合ニ於テノ例ヲ引イテアリマスカ、唯ダサウ云フ方面ノ保證ノ場合ノミデアリマスカ、或ハ官署其他會社ナドニ人ヲ雇入レル場合ニ於テ、保證ニ立ツタ場合ニモ及ブノデアラウト思ヒマスガ、其點ヲ一寸伺ヒタイ

○上島委員 是ハ御説ノ通り總テ汎ク及ブノデアリマス、此所ニハ日常見聞シテ慣レテ居ルモノデスカ、斯ウ云フ風ニ書イタダケデアリマシテ、是ハ汎ク及ボシタイト云フ考デアリマス

○高柳委員 政府委員ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○池田政府委員 此案ハ前議會ニ既ニ御提出ニナリマシテ委員會ニ於テ——政府ニ於キマシテモ研究致シマシテ大體異論ノ無カリシ所デアリマス、之ヲ拜見致シマスルト、從前ノ案ト變リ無イヤウニ見受ケマス、政府ニ於キマシテハ、趣旨ニ於テ別ニ異議ハアリマセヌ、至極御尤ナ案ト認メマス

○大道寺委員 一寸提出者ニ伺ッテ置キマス、是ハ民法ノ保證債務ノ規定ノ例外ノナヤウ意味ガアルノデスカ

○上島委員 此規定ヲ設ケテアル部分ダケハ、詰リ例外ニナルノデスカ、是ダケノ特別ノ例外ノ制限ニ服スルト云フコトニナルノデスカ

○大道寺委員 ソレデハ政府委員ニ伺ヒマス、親族、相續ニ關スル民法ノ規定ガ、改正ノ審議中デアルト云フヤウニ承テ居リマスガ、丁度此規定ガ保證債務ノ一ツノ例外ノヤウニナッテ居リマスガ、是等ニ付テ只今改正ニ付テ審議ヲ進メテ居ラル、ヤウナ有様デアルガ、何等其所ニマダ調査モ行届イテ居ラヌノデスカ

○池田政府委員 法制審議會ニ於キマシテ、我ガ古來ノ美風ニ鑑ミテ、民法ノ規定中、改正ヲ要スルノ件ナキヤト云フ事ガ諮問ニナリマシテ、其諮問ニ基ツキマシテ、法制審議會ニ於テハ、民法ノ全般ニ涉リマシテ攻究セラレツ、アル次第デアリマス、主トシテ、親族、相續ニ關スル問題ヲ討究サレテ居リマス、併ナガラ必シモソレニ限ラズ、荷モ日本ノ美俗ニ關係アルモノデアリマシレバ、其以外ノ各編ニ付テモ汎ク研究スルコトニナッテ居リマス、確カ此身元保證ニ關スル事モ其一ツトナリ、或ル委員カラ研究事項トシテ、御提出ニナッテ居ルコトニ承ッテ居リマス、只今進行シテ居リマス程度ハ、親族、相續ニ關係アル事ヲ主トシテヤッテ居ル譯デアリマス、其他ノ點ニ付キマシテハ、詰リ研究條項トシテ掲ゲラレテ居ルモノハアリマシテ、身元保證ノ事モ其一ツニナッテ居リマス、マダ身元保證其物ニ付テ、特ニ研究ヲサレテ居ルト云フ所マデハ至ッテ居リマセヌ——少シ語弊ガアリマスガ、研究ハシテ居リマスガ、マダ精細ニ研究ヲ進ムルノ程度ニハ達シテ居リマセヌ

○大道寺委員 サウシマスト、今ノ民法改正ヲ審議サレツ、アル結果トシテ、幾分此民法ガ改正セラル、デアリマセウガ、民法中ノ保證債務ノ規定ノ中ニ之ヲ入レテ、矢張民法ノ一部修正ヲスルト云フ事ニナッテ、此案ヲ民法ノ中ニ入レルト云フコトヲ捨テ、斯ウ云フ保證債務ノ例外ノ規定ヲ單行法トシテ特別ニ出スト云フコトニ付テ、政府トシテハ今日ノ時期デハ、ソレガ適當デアルト御認ニナルノデアリマスカ

○池田政府委員 法制審議會ニ於テハ、只今審議セラレテ居ル問題ハ、前ニ申シマシタ通りノ狀況デアリマスガ、是ガ愈々審査終了致シマシテ、法律ヲ制定スルノ運びニ至リマスカ

シタ際ニ、或ハ民法其モノ、改正トシテ、民法中ニ規定セラル、コトニナルモノアリマセウシ、或ハ又其他ノ特別ノ形式ヲ執ルコトガアラウト思ヒマス、ソレデ今茲ニ問題ニナッテ居リマス事項モ、愈々調査終了ノ際ニ、如何ナル立法ノ形式ヲ執ルカト云フコトハ、其際ニ於テ考ヘラレコトト思ヒマス、而シテ此問題ハ今此形式ニ於テ法律ニナリマシテモ、今ノ調査會ノ事情ト別ニ差障ハナカラウト考ヘテ居リマス

○大島委員 一寸私ハ政府委員ニ御尋シタイノデスガ、此法律ハ雇主ト雇人ト身元保證ヲスル者トノ三面ニ關係ヲ持ツ法律デアリマス、サウ致シマスルト、第一條「二年ヲ經過シタルトキハ身元保證人ニ於テ之ヲ解除スルコトヲ得」ト云フ規定ニナッテ居リマスガ、是ハ本案自體ガ三面ノ關係ヲ調和スルノ案デアアルカ、政府ハ此法案ガ通過シテ差障ガナイト云フノデアアリマスカ、此御意見ヲ承テ見タイノデアアリマス

○池田政府委員 只今ノ御話ハ雇主ト雇人、其間ノ債務關係ヲ、第三者即チ保證人ト云フ者ガ保證スル、是ガ即チ保證スル、是ガ即チ保證契約、即チ此ニ謂フ所ノ身元保證契約、是ハ詰リセラル、ヤ否ヤト云フ御尋ノヤウニ承リマシタ、詰リ雇人ガ雇傭契約ニ基キテ、雇主ニ對シテ負擔スルコトアルベキ債務ト云フモノハ、ソレヲ第三者トシテ身元保證人ト云フ者ガ保證スル、斯ウ云フ關係ニナル事ハ勿論デアリマス、ソレデ提案者ノ御述ニナリマシタ通りニ、此雇傭ノ關係ト云フモノハ相當ニ繼續シマスシ、又必シモ雇傭トニ限リマセヌガ、其關係ト云フコトハ頗ル長ク、不定ノ時間繼續スルト云フ性質ノモノデアアル、是ハ一旦保證シタ者ガ其結果トシテ何時迄モ其保證契約ニ拘束ヲ受ケルコト云フコトニナッテハ、是ハ頗ル迷惑ナ話デアアル、或ハ其間ニ事情ノ變ズルコトモアリマセウ、デアリマスカラ、是等ノ繼續的性質ヲ有スル保證ト云フモノニ付テハ、相當ノ期間經過シタナラバ解除ヲ爲シテ、將來ニ向テ其實ヲ免レルコトノ途ヲ開ク方ガ、時宜ニ適スルデアアルマイカ、サウナレバ寧ロ初ニ保證ト云フモノヲ入レルト云フコトニナッテ云フノガ、此提案ノ御趣意ト承テ居リマス、左様ニナリマスレバ、雇主雇人間ノ關係、又保證人ト雇主ノ關係モ、大體此位ノ程度ヲ以テ、適當ニ利害ノ關係ヲ調和セラル、モノト、認ムルコトガ出來ルデアラウト心得テ、政府ニ於キマシテハ之ニ賛成ヲ表シテ居ル次第デアリマス

○大島委員 第一條ノ二年ヲ經過シタルトキハ、身元保證人ニ於テ之ヲ解除スルコトガ出來ルト云フコトハ、少シク短キニ失シハシナイカト思ヒマス、ソレハ學校出ノ人ヲ雇ヒマスニ、學校ヲ出テ、而シテ二年ノ間ハ極テ謹直デアアルカラ、此保證契約ノ效力ノ發生スル時分ハ、モウ少シ後デアルト思フ、一二年ハ眞面目ニ勤メテ、而シテ席ガ温マテ來ルト、ソレカラボツ／＼色々ナ事ガ起ツテ來ル、ソレデ此二年ト云フ事ハ餘リ短キニ失シハシナイカト云フ考ヲ持ッガ、幸ヒ提案者上島君ガ御出席デゴザイマスカラ伺ヒマスガ、モウ少シ長クシテモ差支ナイト云フ御意向デアリマスカ、二年ガ最モ適當デアルト云フ御意向デアリマスカ

○上島委員 大島君ニ御答致シマスガ、此二年ト云フコトハ、實ハ先年委員委員諸君ト御協議ノ結果、二年トシタノデアアリマシテ、一年半デハ短イ、三年デハ長過ギルト云フ、キツチリシタ考ハ持ッテ居リマセウ

○大道寺委員 一寸提案者ニ伺ヒタイノデスガ、今大島君カラノ御質問ニ關聯致シテ、二年ヲ經過シタルトキニハ解除スルコトガ出來ル、所ガ二條ニ持ッテ來テ「五年ヲ經過シタルトキハ其ノ契約ハ當然解除セラレタルモノト看做ス但シ此ノ期間ハ商工業見習者ノ身元保證ニ付テハ之ヲ十年トス」トアリマシテ、一條ノ二年ト云フモノヲ、商工業見習者ニハ區別シテアリマスガ、此間ノ區別ハ設ケナクテモ宜イト思ヒマスガ、之ニ對スル御考ガアリマスレバ伺ヒタイト思ヒマス

○上島委員 此商工見習者ノ身元保證ノ年限ヲ十年間トシ、倍ニシタ點カラ見ルト、或ハ第一條ノ方ハ同一ノ比例ヲ以テ、二年ノ倍ノ四年ニシテモ宜サソウニ考ヘマスガ、此點マデ深く考慮シテ居リマセウ

○大道寺委員 モウ一ツ伺ヒタイノデスガ、此法案ハ契約ノ存續期間等ノ年限ノ規定デアリマスガ、其金額等ニ付テ、或ハ給料ノ何年振トカ、何倍トカ云フヤウナ風ニ、損害ノ額ノ程度ヲ定メルト云フ必要ハ無イノデアリマスガ、解除ノ年限ヲ定メテ、而シテ解除權ノ發生スル場合ト、當然解除サレル場合ト定メル趣旨カラ申シマスルト、寧ロ金額ニ於テ相當ナ制限ヲ附ケルコト云フ事柄ガ、此法案ノ趣旨ニ適シテ居ルヤウニ思ハレルノデアリマスガ、其點ニ向ッテノ提案者ノ御考ヲ伺ヒタイ

○上島委員 實ハ金額ノ點モ提案者ハ初ニ考慮ノ中ニ入レタノデスガ、ドウモ金額ニ付テ適當ニ之ヲ制限スルト云フコトガ出來難カッタノデ、是ハ委員會デ斯ウ云フ風ニ修正シタノデス

○大道寺委員 政府委員ニ御伺シタイノデスガ、今提案者ニ質問致シマシタ如ク、此第一條ノ二年ト云フ事柄ガ、大島君ノ質問ノ趣旨ニモアリマシタ如ク、少シ短イヤウナ感ジガスルノデアリマス、ソレカラ金額ノ點モ、多少何カ制限スルコトガ適當ノヤウニ感ゼラレルデスガ、是等ニ付テハ政府委員ハ、ドウ云フ御考ヲ持ッテ居ラシヤイマスカ

○池田政府委員 第一條ノ年限ニ付キマシテハ、大體ニ此位ノ所ニ適當デアラウト思ヒマス、詰リ是ハ大體裁量ノ問題デアリマシテ、強テ二年デナケレバナラヌト云フ確タル理由モ實ハ持チマセウ次第デアリマス、多少是ヨリ長クナッテモ別ニ差支ハナイカト考ヘマス、唯タ先程御話モ出テ居ッタヤウデアリマスルガ、一條ノ方ノ權衡カラシテ、此一條ノ期間ニモ、物ノ種類ニ依ッテ區別ヲ設ケテハドウカト云フ御意見ガ出テ居リマシタ、成程一應ハ御尤デアリマスケレドモ、一條ノ方デ其區別ヲスルハ如何カト思ヒマス、所ニ依リマシテハ將來ニ向ッテ解除スル分ハ、繼續的保證ガ何時デモ出來ルト云フヤウナ方針ヲ執ッテ居ルヤウナ所モアリマス、併ナガラ保證契約ヲシテ如何ニ將來ニ向ッテハ云ヘ、直ク解除スルト云フヤウナ事ハ如何ニモ眞面目ヲ缺クモノデアアルカラ、保證ヲシタ以上ハ相當ノ間ハ、ソレニ繼續ヲセシメルト云フコトモ無論差支アルマイト云フコトデ、是ハ物ノ種類ニ拘リマセウ、先ヅ二年位繼續セシメテ宜カラウト云フ位ノコトデ出來テ居ルノデアラウト承知シテ居リマス、一條ノ方ハ詰リ其最少限度、即チ是ガ保證契約其モノ、效力存續期間ヲ茲ニ定メヤウト云フ所カラシテ、ソレニ商工業者ト云フモノハ、特殊ノ關係ガアルカラ、長クスベキデアアルマイカト云フ所デ、此區別ガ出來タコト、考ヘマス、ソレカラ只今金額ニ付テ制限スルノガ適當デアアルマイカ、ソレニ付テノ意見ハドウデアアルカト云フ仰セデアリマス、此金額ハ契約ノ種類、當事者ノ地位等ニ依リマシテ、種々是ハ變テ居ルモノデアラウト思ヒマス、又變ルベキモノデアラウト思ヒマス、之ニ例ヘバ最高ノ金額ヲ劃一的ニ定メルト云フコトハ、大分ドウモ困難ナ事デアアルマイカ、却テ時宜ニ適シナイヤウナ結果ヲ惹起シハシナイカト云フ考ヲ持ッテ居リマス、此點ハ餘程研究ヲ要スル事デアラウト考ヘテ居リマス

○高見委員長 是ハ質問ハ無イヤウデアリマスカラ、是デ質問ヲ終了シテ宜シウゴザイマスカ

○高見委員長 之ニ關スル討論ハ追テ次會ニ致シマス、次ハ家産法案、提出者ノ説明ヲ求メマス

○上島委員 此家産法案ハ私トシテハ單獨ニ提出シタコトハ、是ハ甚ダ大膽ノ行爲ダト自分ニハ思ッテ居ルノデス……

○高見委員長 一寸上島君ニ注意致シマスガ、是ハ今度初テ御出シニナッタ案デアリマスカラ、出來ルダケ深切ト寧ニ説明サレタラ宜イダラウト思ヒマス

○上島委員 承知シマシタ——我國デハ立法上ノ殆ド最初ノ企デアリマシテ、微力ヲ掃ラズ必要ト信ジテ提出致シタノ

デアリマス、固ヨリ自分ノ狹隘ナル見聞ノ範圍ヲ作製シタ
モノデアリカランテ、缺點ハ多クアルニ相違ゴザイマセズ、
ドウカ十分一ツ御審議ヲシテ戴キマシタラ、他日大成シタ
立派ナモノガ出来ル、少クとも機會ヲ造ルコトガ出来ルダ
ラウト思ヒマス、實ハサウ云フ趣旨ニ於テ私ハ提出シタ次
第デアリマス、今委員長カラノ御注意モゴザイマシタカラ
シテ、甚ダ贅辯ノヤウデゴザイマスケレドモ、一應私カラ其
趣旨ノ大體ヲ申上ケルコトニ致シマス、此家産法ヲ私
ガ調査スル意思ヲ起シマシタ動機ハ、此理由書ノ中ニ一部
分書イデアリマスヤウニ、田地ヲ一町カ一町半ヲ持ッテ居ル
ヤウナ田舎ノ百姓ガ、主人ガ死シテ小サナ息子ガ跡ハ殘ル、
阿母サシガ息子ヲ努力シテ育て、漸ク一人前ニナル、二十
カ二十一ニナル、サウ云フ息子ガ直グ又悪友ノ爲ニ騙ラカ
ラサレテ身ヲ放蕩ニ持崩シテ、母親ノ言フコトヲ聽カナ
イ、親族ガドレ程言フテモドウシテモ言フコトヲ聽カナイ、
阿母サシヤ妹ノ知ラナイ間ニ田地ヲ抵當ニ入レル、家ヲ賣
飛バンシテシマウ、其金ヲ以テ遊蕩ニ行ッテ使フ、夢ニモ知ラ
ナイ間ニ土地ヲ競賣セラレ、家屋ガ競賣セラレル、ソレ爲ガ
ニ氣ヲ狂ッテ阿母サシガ淵ニ身ヲ投リシテ死シタト云フヤウ
ナ、誠ニ悲惨ナ實例ニ吾々ハ往々ニシテ遭遇スルノデス、サ
ウ云フ點カラ或ハ刑事上ノ問題ガ起リ、民事上ノ問題モ起
リ、其度毎ニ私ハ少カラズ法律家トシテ其事件ヲ取扱フ其
當事者ノ以外ノ見地カラ、ドウモ斯ウ云フ事ハ誠ニ悲惨ナ
事デアル、何トカシテ斯ウ云フ事ヲ救フテ、一家離散ノ悲境
カラ、不心得ノ戸主以外ノ家族ヲ救フテヤルノ途ハ無イカト
云フコトヲ、段々自分共モ考ヘタノデアリマスルガ、其結果
丁度千九百九年ノ七月カニ、佛國ニ發布シナッタ家産法ト云
フノガアルノデス、是ハ家産法ト云フノガ適當タラウト思
ヒマス、直譯スレバ家族ノ財産ニ關スル法律デス、其法律ガ
アッテ大體御手本ガ先ヅ此法案ニ似タヤウナモノガアルノ
デス、ソレデ大變私ハ喜ンデ、斯ウ云フ法律ヲ日本ニモ多少
ノ變更ヲ以テ實施シタナラバ、戸主一人ノ不心得ニ依ッテ、
自分ノ老年ノ父母、幼年ノ弟姉等ヲバ他卿ニ流浪セシメテ、
一家離散スルヤウナ悲惨ナ境遇カラ弱者ヲ救フコトガ出来
ル、實ハ斯ウ云フ考ヲ起シテ、本案ヲ起草スル至ッタクヤウナ
次第デアリマス、マア動機ハ左様ナ事デアリマス、ソレカラ
此佛國ニ於ケル千九百九年ノ家産法ノ結果ハ、ドウモ餘リ面
白クナイヤウニ見エテ居ルノデス、ト云フノハ其報告書等ニ
依リマシテモ、殆ド其法律ノ恩典ニ浴シテ居ル人ガ少ナイ、
即チ此法律ニ依ッテ家産ヲ設定シ居ル數ガ極テ少ナイデス、此
法律ガ佛國ニ制定セラル、時ニハ、モウ非常ナル期待ヲ以テ迎
ヘラレタ、總テノ黨派ガ社會黨モ何モ彼モ悉皆一致シテ、非
常ニ望ラシメテ此家産法ヲ完成シタノデス、愈々此法律

ニ依ッテ家産ヲ組織スル人ノ數ガ非常ニ少ナイ——少ナイ
ト云フノハ家産法其モノガ惡イノデナクシテ、家産ヲ設定
スル手續ガ非常ニ面倒デアル、非常ニ歲月ガ要リ、時間ガ要
リ、サウシテ費用ガ澤山掛ル、煩瑣ナル種々ノ手續ヲ經テ
ケレバナラズ、矢張此田舎デ自ラ土地ヲ有テ、自ラ田ヲ耕シ
テ行クヤウナ思想ノ單純ナル所ノ農民ハ、サウ云フ費用ヲ
支出シ、サウ云フ時間ヲ費シ、サウシテサウ云フ手續ヲスル
ト云フ事ガ中々困難デアリマス、ダカラ誰モ厭ガッテ家産法
ノ恩典ヲ受クル者ガ無イ、而モ其家産ノ額ガ確カ八千法ト
カ云フ事ニナッテ居ルデス、極ク僅カナノデス、無論土地ノ
價格ガ割合ニ廉イ、サウデスケレドモ價格ガ非常ニ僅カデ
アルシ、其上ニ手數ガ掛リ費用ガ掛リ、時間ガ掛ル、サウ云
フ點カラシテ、是非ハ非常ニ農村ノ社會政策ノ最上ノ法案
デアルケレドモ、不幸ニシテ世間ニ利用セラル、ニ至ラナ
イト云フコトノ、其報告書ヲ私ハ讀ンダノデス、是ハ相當ナ
改正ヲ行ッテ、之ヲ以テ農村ノ衰頹ヲ防ギ、其堅實ナル生活
ヲ永遠ニ保存スル目的ヲ、達シタモノデアルト云フ風ヲ報
告書ヲ讀ンダコトガアル、ソレデ私ガ考ヘマスルノ、
日本ニ於テモ家ト云フモノヲ認メテ居ルノデアリマスルガ、
法ニ於テモ家ト云フモノヲ認メテ居ルノデアリマスルガ、
此家ト云フモノ、實際ノ效用ト云フモノハ、少クとも此維
新ノ時ニ減シマシマテ居ル、戸主個人ノ資格ヲ離レタ所ノ家ト
切離サレテシマシマテ居ル、戸主個人ノ資格ヲ離レタ所ノ家ト
云フモノヲ、經濟上ニ意識スルモノ、デ何モ無クナッテシマ
テ居ル、ダカラシテ家ト云フモノハ全部無資産者デアッテ、
戸主ガ全財産ヲ相続シテ自由自在ニスル、先祖カラ傳テ居
ル田畠デモ家屋デモ、父母ニサヘモ一言ノ相談無シニ、自分
ガ勝手ニ之ヲ處分スルコトガ出来ルコトニナッテ居ルノデ
アリマスガ、併シ元來家族制度ト云フモノガ多年ノ間發達
シテ來ッテ、法律デハ左様ニ極端ナル個人主義的ノ所有權ガ
認メラレテ居リマスケレドモ、實際ニ於テハ矢張今日ト雖
モ、家ト云フ觀念ハ深く各人ノ頭ノ中ニ浸込シテ居ルノデ
アリマスカラ、外國ト違ッテ個人主義的ノ所有權ヲ離シタ所
ノ共同ノ家族、家ト云フモノノ基礎ガ、我國デハ能ク出来テ
居ルノデアリマスカラ、此地盤ノ出来テ居ル上ニ家産ヲ築
クノハ、外國ニ於テ築クヨリハ、日本ニ於テ築クノガハ最
モ容易デアッテ、且ツ適當シテ居ルコトヲ私ハ考ヘタ
ノデアリマス、ソレカラ其次ニハ幕府時代ノ此制度ヲ見マ
スルト、土地ノ永代賣買ヲ禁ジテ居ルノデス、而モ其中デ
一町以外ノ土地ニ付テハ、遺言ヲ以テシテモ之ヲ他ニ處分
スル事ヲ禁ジテ居ル、其點カラ見ルト、幕府ノ農政ト云フモ
ノハ約一町ト云フモノヲ以テ一家ノ單位トシテ居ッテ、ソレ

ヲ其家ニ永遠ニ傳ヘルト云フ方針デ、三百年ノ間ノ支配ガ
行ハレタヤウニ自分共ハ考ヘテ居ルデス、故ニ此家産ト
云フモノハ農村ノ保護政策トシテハ、家ヲ先ヅ約一町ト云
フ所ノ考デ基礎ヲ置イテ、其資産ヲ家ニ附ケテ永遠ニ保存
シテヤルト云フ事ハ、昔カラノ斯ウ云フ風ヲ慣習ニモ適當
シテ居ルモノデアッテ、之ヲ實行スル上ニ於テハ、甚ダ便宜
デアルト云フ考ヲ起シマシタ、ソレカラ尙ホ此家産ト云フ
モノヲ、モウ少シ此範圍ヲ擴メテハドウカト云フ考モ實ハ
起シタ、此家産法ニ依ルト、單純ニマア百中ノ九十九マデハ
小農保護ノ主義ニ傾イテ居ルデス、之ヲ都市ノ商工業者ニ
及ボシテ、一定ノ資産ヲ一家ノ爲ニ保護シテヤル
ト云フ方法ニシタラドウカト云フ考モ起シ、成ベ
クサウ云フ風ニ擴張シタイト今日デモ私ハ思ッテ居
ルノデスケレドモ、此家産ノ立法例ノ根本タル所ノ佛國ニ
於テハ、總テ此ブルジョアノ爲ニ世襲財産ヲ設定スルト云
フ意味ヲ、一部デモ法律ノ上ニ留メタクナイ、殊ニ
此不勞利得——自分ガ額ニ汗セズシテ、自分ガ勞働セズシ
テ、坐ナガラニシテ生ズル所ノ利益ヲ法律ヲ以テ永遠ニ保
障スルコトハ望マナイト云フ其趣旨ニ出テ居ルノデス、ダ
カラシテ自分ノ住ンデ居ル家、自分ノ所有シテ居ル土地、而
モ其土地ハ自分若クハ家族ガ耕作スル土地デナケレバ、イカ
ヌ、自分ガ住マシテ人ニ賃貸シテ、坐ナガラニシテ家賃ヲ
收メテ利得ヲスル、自分ノ土地ヲ人ニ小作ヲサセテ小作料
ヲ取ッテ、人ノ勞力ニ依ッテ自分ガ利得ヲスル、サウ云フ者ハ
別ニ排斥スル譯デモアリマセスガ、法律ハ特殊ノ立法ヲ以
テ、サウ云フ不勞ノ利得ヲ——財産上ニ自己ノ勞力ヲ有セ
ズル利得ヲ、永遠ニ保護スルト云フマデ進ンデ御世話スル必
要ハ無イ、斯ウ云フ見地カラ最少限ニ其恒産ヲ自分ガ使ウ
テ、自分ガ耕ス者デナケレバ、其中ニ入レナイト云フコト
ニナッテ居リマス、此立法例ノ根源ニ對シテ變更ヲ加ヘルト
云フコトハ、今日ノ社會政策上如何ナモノデアラウカト思
ヒマシテ、實ハ此點ヲ加ヘナカッタノデアリマス、併シ是ハ
本當ニサウ云フ見解カラ離レテ、都市ノ國民ノ小サキ恒産ト
云フモノヲ保護シテヤッテ、所謂恒産アル者ハ恒心アリテ、
今日ノ危險思想ニ對スル所ノ、國民ノ根本的ノ思想ヲ保
護スル爲ニハ、日本デハ小サキ見地ニ因ハレナイコトカ、日
本ニ於テハ必要デアルト私モ考ヘマスガ、併シ要スルニ斯
ウ云フ事ハ、外國ノ立法例ニ根據ヲ有スル事ガ必要ト考ヘ
マシタカラ、範圍ヲ自己ノ住居スル土地、自己ノ所有シ耕
作スル範圍トシテ居リマス、ソレカラ此金額ヲ五千圓ヲ超
過スル事ヲ得ズ、私ハ始メ一万圓ト云フ事ニシタノデアリマ
スガ、自分共ハ都市ニ生レ、極ク田舎ノ事ニハ疎イ者デアリ
マスガ、田舎デ自分ノ住宅ト一町歩ノ田地ヲ持ツトシタナ

ラバ、一万圓位方相當デアラウト思ヒマシタガ、此方度庚申俱樂部ノ友人ニ就イテ見ルト、一万圓ハ多過ギル、五千圓デ結構ダト云フ事デ、五千圓トシタノデアリマス、斯ウ云フモノハ多少ノ餘裕ヲ見テ以テ、五千圓デモ一万圓デモドチラデモ宜カウト思フ、五千圓ト云フ事ハ斯ウ云フ見積リデ漠然トヤツモノデ、外ニ根據ハアリマセズ、ソレカラ特ニ私ガ注意致シマシタノハ、例ノ佛國ニ於ケル此法律ヲ利用スル者ガ少ナイ、即チ其設定スル手續方煩雜ダト云フ事ニ依ッテ、ソレニ付テハ多少ノ考慮ヲ拂ツタノデアリマス、田舎ノ者ハ五千圓ヤ一万圓ヲ財産ヲ設定スルニ、區裁判所ニ於テ證人ヲ頼ミ、辯護士ヲ頼ミ、代書人ヲ頼ムト云フ事ハ非常ニ苦痛ニ達ヒナイカラ、サウ云フ事ヲ單ニ裁判所ニ申請スルニハ、自己ノ住居スル村役場ニ設定書ヲ差出シテ、申請トシタモノト看做スノデアリマス、ダカラシテ村役場ニハ單ニ財産ノ目錄、不動産ノ登記簿等ノ極々簡單ナモノヲ下付シテ、其後ハ自動的ニ獨リデ行クコトニスル、サウスレバ村役場ダケノ費用デ、其他ノハ少シモ設定者ニ負擔ヲ課サナイ是デ十二分ニ手數ト時間トヲ省イテ、實際ニ完全ニ出來ヤウト思フ、ソレカラ是ハ民法上ノ總テ登記セラレタル物件、殊ニ先取特權、質權、抵當權等ノ關係ガ甚ダ錯雜シテ居リマスガ、是モ短日月ノ間デアリマシテ、自分ノ狹隘ノ見聞ノ及ブ範圍デ、成ベク是ハ調和シテ積リデアリマス、ソレカラ或ハ土地ノ收用耕地整理ノ場合、是モ自分デハ成ベク他ノ法律ノ關係ヲ參照シテ書イタト思ヒマスケレドモ、澤山ニ缺陷ガ存シテ居ルト云フコトハ確ナ話デアリマス、是ハ諸君ノ御教ヲ待チマセウ、ソレカラ家屋ノ效力ハ、家屋ヲ如何ナル債權モ之ヲ差押ヘルコトヲ得ズ、矢張主タル效力デ、サウシテ家屋其物ノミナラズ、家産カラ生ズル果實モ、原則トシテハ一切差押ヲ許サナイ、唯タ其不動産ニ課セラレタル租公課ノ不動産ノ爲ニスル火災保險及蟲害、旱水害、其他ノ各種農業、保險、傭人ノ給料、ソレカラ種子、肥料ノ供給代ノレガ果實ダケニ對シテ差押ヲ許ス、其他ハ一概ノ債權ニ對シテハ差押ヲ許サナイ、是モ佛國ノ立法ニハ殆ド之ト同ジヨウナ規定ガアリマス、ソレデ理由書ノ與ニ書イテ置キマシタヤウニ、尙ホ此家産法ト云フモノハ我國ニ於テ長子相續ヲ支持シテ居ル以上ハ、是非必要ナモノデアラウト思フ長子一人ガ全財産ヲ相續シテ、母親モ父ガ死シテラウト思フ出來ナイ、百年ノ苦樂ヲ他人ニ頼リ、自分ノ長子一人ノ一舉一動ニ、自己ノ利害ヲ委託シテ居ルノデアリマス、其母ナリ弟妹ノ位置ト云フモノハ極テ薄弱デアリマス、其長子ガ必シモ孝心ノ深イ者デモナク、必シモ品行方正ノ者デモナク、自己ノ責任ヲ重ンズル者デモアリマセスカラ、ソレデアッタナラバ、其他ノ家族ノ悲惨ノ狀態ハ目モ當テラレナ

イ、今日マデ長子相續法ヲ絕對的ニ日本ニ置イテ、此長子相續ノ弊害カラシテ、極端ノ場合ハ其家族ヲ救フコトガ出來ヌト云フコトハ確ニ日本ノ相續法ノ大缺陷デアルト思フ御承知ノヤウニ日本ノ古來ノ相續法ニ於テハ、決シテ絕對ノ長子相續法デハナイ、或ル部分ノ相續ハアリマセケレドモ、家族各、或ハ十分ノ一、十分ノ二ト云フ比例デ、總テノ家族ヘ財産ヲ分配シテ居ツタ、長子相續法ト云フモノハアリマシタケレドモ、其代リ家族ト云フモノハ一部ノ權利ヲ與ヘテ居ツタカラ、不便ナシテ實際ニ三百年間安穩ニ生活シテ來マシタケレドモ、今日ノ絕對長子相續法デハ、是ハ看過スベキモノデアリマセヌカラ、家族ノ之ガ爲ニ陷ル所ノ不安ノ位置ト云フモノハ、實ニ言罷斷デアラウト思フ、此家産法ハ少クトモ此點ニ於テ、或ル程度マデハ長子相續カラ生ズル所ノ憐ムベキ所ノ家族ノ位置ヲ救フコトガ出來ルト思ヒマス、前後シテ順序モ混亂致シタ説明デ、甚ダ相濟ミマセヌガ先ゾ私ノ感シタコトヲ遠慮ナシニ申上ゲテ置キマス

○大道寺委員 是ハ大分ムジカシイ法案デアリマシテ、實問研究ヲ要スル事柄モ多クアラウト思ヒマスガ、先ゾ政府委員ノ之ニ對スル御意見ヲ承ツテ、サウシテ徐ロニ研究ヲ遂ゲタイト思ヒマス

○池田政府委員 只今議題ニナツテ居リマスル家産法ハ頗ル重大ナル案件デ、法案ノ趣旨、提出ノ理由等ニ付テモ、能ク研究ヲ遂ゲテ居ツタノデアリマス、更ニ又只今ノ御説明ニ依マシテ、大體御趣旨ノ在ル所ヲ諒解スル事ヲ得タノハ、頗ル感謝スル次第デアリマス、此問題ハ社會上並ニ經濟上、重要ナル關係ヲ有スルコトハ申スマデモナク、御提案ノ御趣旨説明中ニモアリマシタ、農村ニ於ケル中産階級ノ保護ト云フコトニ、主トシテ著眼セラレテ居ルヤウデアリマス、成程是亦洵ニ今日ノ重大ナ問題ト心得テ居リマス、又家産ノ制度ト云フモノヲ果シテ採用スルヤ否ヤト云フコトモ、重大ナ問題デアリマスガ、之ヲ採用スルト假定シテ、之ヲ此ニ止ムベキヤ、或ハ汎ク之ヲ認ムベキデアルカ、隨テ又家産ノ目的トナルベキモノモ、不動産ニ止ムベキデアルカ、或ハ汎汎ク他ノ財産ニモ及ボスベキモノデアルカト云フコトモ、攻究ヲ要スル事ト思ヒマス、又是ハ私ノ誤解デアルカ存ジマセヌガ、若シ誤解デアリマシタナラバ御叱正ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、本案ノ御趣旨ニ依リマスレバ、家産ヲ設定スル者ハ、必シモ戸主ニハ限ラナイモノ、ヤウニ拜見致シテ居リマス、日本ノ家族制度ト云フモノ、見地カラ觀マシレバ、家産ハ戸主ニ止ムベキカ、即チ家ニ基礎ヲ置クコトニ著眼スベキデアルカ、或ハ個人財産ノ基礎ヲ確立スルト云フコトニ注目スベキデアルカト云フコトモ、是ハ頗ル大キナ問題デアラウト思ヒマス、諸外國ノ立法ニ於テモ、只今御引

ニナリマシタ佛蘭西ノ法律モ、又其他ノ諸國ニ於テモ、多少之ニ類似ノモノヲ採用シテ居ル處モアルカノヤウニ承ツテ居リマス、日本ニ於テ家産制度ヲ採ルベキヤ否ヤト云フコトハ、種々ノ點カラ考慮スベキ事デ、社會問題、經濟問題トシテ、洵ニ一ノ根本問題デアラウト考ヘマス、政府ニ於キマシテモ特ニ此點ニ留意致シマシテ調査ラシテ居ル次第デアリマシテ、先程申上ゲマシタ臨時法制審議會ニ於テモ、日本ノ古來ノ美風ヲ維持スル上ニ付テ、民法ノ規定中改正ヲ要スルモノナキヤト云フ諸問ノ中ニ、矢張是等ノ事モ研究ノ題目トナツテ居ル次第デアリマシテ、家産ノ事ニ付テハ、只今色々ノ方面ニ涉ツテ研究ノ歩ヲ進メテ居ルヤウナ次第デアリマス、只今歐羅巴ノ方ヘ司法省ノ方カラ出テ居リマス視察員、遣外法官ノ使命ノ一ト致シマシテ、是モ調ベルコトニナツテ居リマス、追テ近イ中ニ歸テ來ルコトダラウト思ヒマス、サウ云フヤウナ次第デアリマシテ頗ル重要ナ事デ、殊ニ又經濟ノ方面カラ觀察致シマシテモ、餘程此保護ノ程度、又保護スベキ財産ノ額等ニ付テモ研究スベキ問題デアラウ、只今迄ノ經過ニ於キマシテハ政府ニ於テ確タル結論ヲ得テ居ナイヤウナ次第デアリマス、法案ノ趣旨、立法ノ精神ニ付キマシテハ洵ニ御尤ナ點モ頗ルアルノデ、敢テ之ニ反對スルト云フ趣旨デハ毛頭ナイノデアリマスガ、只今申上ゲマシタヤウナ次第デアリマシテ、確タル意見ヲ之ニ付テ只今申上ゲルコトノ出來ナイヤウナ事情デアルト云フコトヲ、御諒承ヲ乞ヒタイト思ヒマス

○高見委員 ドウデスカ、此質疑ハ此次ニ讓ツテ、本日ハ此程度ニ止メテ置イテハ如何デス

○サウ頭ヒタイト呼フ者アリ

○大道寺委員 説明ヲ承リマシテ、頗ル結構ナ案デアルト云フコトニ贊同スルノデアリマスガ、今政府委員ノ御答辯中ニモアリマスル如ク、此法案ガ實施サレテ、皆方五千圓ヲ限リシテ家産ノ設定ヲスルト致シマスレバ、非常ニ此財產ヲ固定サスヤウナ、不融通物ニサスヤウナコトニナリマス、隨テ資本ノ融通ト云フ上カラ見マシテ、餘程經濟上ニ影響ヲ及ボシハセヌカト思ヒマスガ、是等ニ對スル提案者ノ御見解ハドウデゴザイマセウカ

○上島委員 ソレモ實ハ提案者ハ餘程考慮シマシテ、例ヘバ土地以外ニ於テハ、公債證書ナドヲ家産トシテ、一万圓ナラ一万圓、五千圓ナラ五千圓ヲ日本銀行ヘ預ケテ、登記簿ニ登録スルコトヲ許サユウニシタラドウカト云フコトモ考ヘマシタケレドモ、經濟上餘程考慮スベキ事デアルト思フテ要求シナカッタノデス、ソレデ其等ノ點ニ付テハ私ハ斯ウ考ヘテ居ルノデス、今日迄ノ此個人主義的、サウシテ資本主義的經濟ノ理法カラ行ケバ、經濟ノ流通ヲ阻碍スルト云フコ

トガ、本案ニ就テ餘程ノ重大ナ懸念ニナルノデセウケレドモ、併シ社會政策ノ上カラハ、純然タル自由經濟ノ範圍ヲ段々縮少セザルヲ得ナイダラウト思ヒマス、又此位ノ程度ナラバサシテサウ經濟上ノ資本ノ流通ト云フモノニ、甚シキ阻礙ヲ來スマイカト思フテ居リマス、併シ同懸念ハ矢張大進寺君ト共ニ持ッテ居ル次第デアリマス

○大島委員 只今政府委員ノ御説明ヲ聽キマス、法制審議會デ、此案ヲ調査スベキ準備方出來テ居ルヤウニ承リマシタガ、ソレハ法制審議會デ、此案ト似寄クヤウナ案ガ御審議ニナリツ、アルノカ、或ハサウデナクシテ、相續法ト云フヤウナモノニ關聯シテ、改正スベキ點ガ無いカドウト云フコトノ御審査ガアルノカ、何カ具體的ノ案ヲモ出テ御審査ニナツテ居ルノデアリマセウカ、若モ有リトスレバ其程度トドウ云フ案ガ出テ居ルト云フコトヲ承リタイ

○池田政府委員 御答致シマス、法制審議會ニ於キマシテハ前ニ申上ゲマシタヤウニ諮問ノ趣旨ニ基ツキマシテ、民法ノ改正ヲ要スル點無キヤト云フ點ヲ審查致シマシテ、サウシテ民法ノ主トシテ親族、相続デアリマス、他ノ點ニモ涉リマスガ、全般ニ涉リマシテ其頭テ問題ヲ拵ヘマシテ、各問題ニ付テ是ハドウシテ宜カラウト云フコトデ、審査ノ歩ヲ進メツ、アルノデアリマス、家産問題ハ重大ナ一ノ問題トシマシテ、其家産ヲ設定スベキヤ否ヤト云フコトガ一ノ問題ニナツテ居リマス、設定スルト云フコトニナレバ、ドウ云フ事ニシテ宜イカト云フコトガ一ノ問題トナリマシテ、其題目ノ下ニ今研究サレツ、アル譯デアリマス、先程今意見ヲ申上ゲルコトガ出來ナイ程度ニ在ルト云フコトヲ申上ゲマシタノハ、其譯デアリマシテ、マダ輪廓ト雖モ實ハ定メマス程度ニ至ッテ居リマセス、併シ是非ハ非常ニ重大問題デアルト云フコトハ各員ガ皆ナ知ッテ居ラレマシテ、材料ヲ今頻ニ蒐メテ居ル次第デアリマス、隨ッテ家産ノ程度、家産ノ範圍内ニ付キマシテハ何モ具體案ハアリマセス、或ハ極ク廣イモノニナリマスガ、或ハ稍、狭イモノニナリマスガ、一寸只今ノ所申上ゲ兼ネルヤウナ事情デアリマス

○大島委員 此案ノ趣旨ハ非常ニ好イ事デアルト思ヒマスガ、其關係スル所ハ頗ル廣ク重大ナ案デ、民法ニモ、不動産ノ登記法ニモ、訴訟法ニモ、總テノ法律ニ關係スルト思ヒマスカラ、質問ハ此程度ニ止メテ置イテ、モウ少シ研究シテ見タイト思ヒマス

○高見委員長 質問ハ此程度ニ止メテ置イテ、尙ホ大道寺君カラ出テ居ル一案ノ説明ヲ求メマス、先ツ裁判所構成法カラ……

○大道寺委員 此改正案ハ裁判所構成法ノ第十四條ノ改正、

即チ裁判所ノ事物ノ管轄ノ範圍ヲ擴ゲタイト云フノデアリマシテ、現行法デハ五百圓ヲ超過セサル金額又ハ五百圓ヲ超過セサル物ニ關ル請求ト云フコトニ制限サレテアルノデス、此數額ハ最初ハ一百圓デアッタガ、明治三十八年ニ二百圓ニナリ、大正二年ニ至ッテ五百圓ニ進ンデ來タ、所ガ其後御承知ノ如ク經濟狀態ガ著シク膨脹シテ居ルニモ拘ラズ、矢張五百圓其儘デヤツテ居リマス、隨ッテ區裁判所ノ事件ガ段々減ッテ行ク現象ヲ持ッテ居ル、一寸統計ノ一部ヲ申上ゲマス、大正四年ガ二十五萬五千六百五十五、大正五年ガ二十四萬六千九百四十九、大正六年ガ二十六萬九千八百一十四、大正七年ガ十八萬二千六百六十六、大正八年ガ十六萬九千八百一十四、四年カラ八年マデノ統計ヲ見マス、毎年一割若クハ二割區裁判所ノ事件ガ減リツ、アル、之ト反對ニ地方裁判所ノ方ハ、大正四年ガ二萬三千四百一十一、大正五年ガ二萬四千六百二十九、大正六年ガ二萬六千二百三十七、大正七年ガ三萬四千七百七十七、大正八年ガ三萬八千八百七十七、斯ウ云フ風ニ殖エテ居リマス、是ハ事物ノ管轄ノ影響ノミデハアアリマセスケレドモ、大部分ハ其影響デアル、斯ウ云フ風ニナツテ來マスト、區裁判所ノ事件ガ段々減ッテ來テ、地方裁判所ノ事件ガ集中スルコトニナリマシテ、地方民ガ是マデ區裁判所ニ提起シナケレバナラヌトコトニナツテ、區裁判所ヲ設ケテ趣旨ガ没却サレルト同時ニ、ソレダケ地方民ノ不便ヲ増スコトニナルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、ドウシテモ此額ヲモウ少シ殖サナケレバナラヌト云フコトハ、今日一般民ノ望ンデ居ル所デアリマシテ、此意味ニ於キマシテ之ヲ千圓ニ増額シテ、此間ノ緩和ヲ圖ラントスルノガ此案ノ趣旨デアリマス、是ハ私一人ノ提案ニナツテ居リマスガ、日本辯護士協會ニ於テモ、是非共サウ云フ風ニヤリタイト云フコトニ主張ハ一致シテ居リマス、ソレカラ之ヲ提案スルニ付キマシテ、私ハ名古屋控訴院管内ノ判檢事全部ト辯護士全部ニ對シテ、擴張ノ範圍ヲドノ位ニスルノカ適當デアラウカト云フコトノ意見ヲ徵シマシタ所ガ、二千圓位マデ上スノガ相當デアラウト云フ意見ガ多數デアッタノデアリマスガ、又地方裁判所所在ノ法曹ノ意見ヲ參酌シマスト二千圓ト云フコトハ急激ナ變化ニナルカラ、千圓位ガ相當デアラウ、斯ウ云フヤウナ意見ガ澤山ニアリマシタノデ、ソレヲ斟酌致シマシテ、千圓ニ擴張スルコトニシタイト思フテ、此案ヲ提出シタノデアリマス

○大島委員 政府委員ニ一寸質問シタイ、御提案ノ趣旨ハ私共非常ノ好イ事ダト思フテ居リマス、時運ノ進歩ニ伴レテ五百圓ノ區裁判所ノ事物ノ管轄ハ狹隘過ギルト思フテ居リマス、ケレドモ御尋シタノハ單獨判事ノ區裁判所デアリマス

○池田政府委員 只今提案者ノ御説明ノ通りニ、大正二年ニ現在ノ額五百圓ト云フコトニ、區裁判所ノ事物ノ管轄ガ改マツノデアリマス、ソレ故ニ既ニ相當ノ日子ヲ經テ居リマシテ、經濟ノ關係モ頗ル變テ居リマス、相當ニ此額ヲ増額スルト云フコトハ、適當ナ事デアルト當局ニ於テモ考ヘテ居ル次第デアリマス、御提案ヲ見マスレバ、千圓ト云フ事ニナツテ居リマス、當局ノ考デハ此位ノ程度ハ蓋シ相當デアラウト考ヘテ居リマス、只今御質問ノ區裁判所ノ單獨判事ニ、此數額ヲ案件ヲ處理セシメテ差支ナイカト云フ御尋デアリマスガ、其點ニ付テハ毫モ心配ナイト思ヒマス

○高見委員長 質問ハアアリマセウカ——裁判所構成法中ノ改正案ノ質問ハ終了致シマシタ、次ニ民事訴訟法中改正法律案——大道寺君ノ説明ヲ求メマス

○大道寺委員 是ハ民事訴訟法ヲ遲延スルト云フ聲ハ、獨リ法曹ノミナラズ、一般世人ニ於テモ認ムル所デアリマス、此訴訟ノ遲レル理由ニ付テハ議論ハ色々アリマスケレドモ、證據決定ナリ、證據決定ノ變更ハ、總テ口頭辯論ヲ聞イテ、證據ノ決定ヲ受ケナケレバナラヌ、サウ云フヤウナ迂遠ナ規定ガアルカラ無用——無用ト云フテハ語弊ガアルカモ知レマセスガ、無用ノ形式的ノ辯論ヲ開クナケレバナラヌト云フ事ニナルノデアリマス、ソレデアラウ改正致シマシテ、口頭辯論期日以前ニ、ドウシテモ事件トシテ證據申請ヲシナケレバナラヌト云フ能ク分クモノハ、口頭辯論以前ニ於テ之ヲ申立テ、裁判所ガ之ヲ相當ト認メタ場合ニ決定シテ、次に口頭辯論期日以前ニ呼出ノ期日ヲ定メテ置ク、斯ウ云フコトニナレバ、一面ハ口頭辯論ガ省略サレテ、訴訟ノ審理ガ早クナルダラウト思ヒマス、此意味ニ於テ二百七十條ノ規定ヲ改正シタイト思フデアリマス、ソレカラモウ一ツハ此證人調デス、證人調ニ際シテ、現行法ノ規定デハ、陪席判事ガ裁判官ニ告ゲテ問ヲ發スルコトハ出來ルノデアリマスガ、當事者ハ證人ニ對シテ問ヲ發スルコトガ出來ナイ、唯タ證人ノ供述ヲ明白ナラシムル爲ニ、必要ナリトスル間ヲ發スルコトヲ裁判官ニ申立テルコトガ出來ル、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマス、聽キタイ事ガアツテモ、ドウシテモ裁判官ヲ通ジテカラデナケレバ訊問ガ出來ナイ、隨ッテ發問ノ趣旨ガ徹底セズ、證人ニ依ッテ事實ノ真相ヲ捉ヘルコトガ難イ弊害ガアルノデアリマス、ソレデアラウ改正致シマシテ、直接訊問ノ途ヲ開キタイト思フ、即チ三百十五條ヲ改正致シタイト云フノガ此趣旨ニ外ラナラヌノデアリマス、是

カラ、此單獨判事ニ千圓マデノモノヲ任シテ宜イカドウカハ、考慮ヲ拂ハナケレバナラヌト思フテ居リマス、政府ノ此案ニ對スル贊否ノ御意見ヲ伺ヒマス

○池田政府委員 只今提案者ノ御説明ノ通りニ、大正二年ニ現在ノ額五百圓ト云フコトニ、區裁判所ノ事物ノ管轄ガ改マツノデアリマス、ソレ故ニ既ニ相當ノ日子ヲ經テ居リマシテ、經濟ノ關係モ頗ル變テ居リマス、相當ニ此額ヲ増額スルト云フコトハ、適當ナ事デアルト當局ニ於テモ考ヘテ居ル次第デアリマス、御提案ヲ見マスレバ、千圓ト云フ事ニナツテ居リマス、當局ノ考デハ此位ノ程度ハ蓋シ相當デアラウト考ヘテ居リマス、只今御質問ノ區裁判所ノ單獨判事ニ、此數額ヲ案件ヲ處理セシメテ差支ナイカト云フ御尋デアリマスガ、其點ニ付テハ毫モ心配ナイト思ヒマス

○高見委員長 質問ハアアリマセウカ——裁判所構成法中ノ改正案ノ質問ハ終了致シマシタ、次ニ民事訴訟法中改正法律案——大道寺君ノ説明ヲ求メマス

モ日本辯護士協會ノ意見トシテ、發表サレテ居ル改正重要望事項ノ一デアリマス、又裁判所構成法中改正法案ノ方ノ際ニモ申シタ通り、提案者トシテハ名古屋控訴院管内ノ全部ノ法曹ノ意見ヲ徵シマシテ、此案ヲ出スコトニナクナリデアリマス

○大島委員 此提案ノ趣旨ハ私共非常ニ贊成スルノデス、初ノ二百七十七條モ、後ノ三百十五條モ、何レモ必要ナ改正ト信ジテ居リマスガ、政府ノ御所見ヲ此際承テ置キタイ

○池田政府委員 先ヅ二百七十七條ノ改正ニ付テ申上ゲマス、訴訟ノ遲延ヲ防ク爲ニ、成ベク適當ナ改正ヲシタイト云フコトハ年來ノ希望デアリマシテ、其趣旨ニ基ツキマシテ、民事訴訟法ノ改正ヲ企テ、居ルノデアリマス、略々完了ヲ告ゲテ居ルヤウナ次第デアリマス、二百七十七條ノ第一項ノ方ハ矢張同一ノ趣旨ニ基カレタ所ノ提案デアリマシテ、訴訟ノ進行ヲ容易ニシタイ、出來ル限リ其妨ニナル事ヲ除キタイト云フ御趣旨カラ出テ居ルノデアリマス、此分ニ付キマシテハ、政府ニ於テハ異存ハアリマセズ、三百十五條ノ第二項ニ付テ申上ゲマス、是ハ訴訟法審理ノ上カラ見マスレバ頗ル大問題デアリマス、當事者ガ裁判長ノ許可ヲ得マシテ證人ヲ訊問スルト云フコトハ、確ニ訴訟審理ノ上ニ於テ、一ノ方法タルニハ違ナイノデアリマス、外國ニ於キマシテモ其例カ無イデモアリマセズ、併ナガラ此手續ヲ實行致シマシテ、果シテ其效果ヲ十分ニ擧ゲルコトヲ得ルヤ否ヤト云フコトハ、是ハ餘程考慮ヲ要スル事ト考ヘテ居リマス、外國ニ於キマシテ、多少ノ成績ヲ擧ゲツ、アル例モ無イデアリマセズガ、我國ノ現在ノ司法制度ニ直ニ之ヲ應用シマシテ、果シテ其結果ヲ擧ケ得ルヤ否ヤト云フコトニ付キマシテハ、當局ト致シマシテ、尙ホ十分ニ研究ヲシテ見タイト考ヘテ居リマス

○大道寺委員 只今ノ政府委員ノ三百十五條ニ對スル御意見ニ付テ、一寸御尋致シタイノデスガ、民事訴訟法ニ付キマシテハ今ノ御意見ノヤウニ拜承致シマスガ、刑事訴訟法ノ改正案ガ只今出テ居ッテ、吾々モ特別委員トシテ審査ヲ進メテ居ルノデアリマスガ、其改正案ニ依リマス、證人ノ訊問ガ裁判長ノ許可ヲ得テ直接訊問ヲ許スト云フコトニ改正サレテ居リマス、同ジ司法省ノ案トシテ、刑事ノ方ハサウ云フ改正案ヲ出シテ居リナガラ、民事ノ方ダケ直接訊問ガイケナイト云フノハ、ドウモ同ジ當局ノ御意見トシテ矛盾シテ居ルヤウニ思フノデスガ、何所ニ民事ダケイケナイト云フ理由ガアルノデアリマスカ、其所ヲ承リタイ

○池田政府委員 刑事訴訟ニ付キマシテハ、私ハ今此處ニ責任アル答辯ヲ致スコトガ出來ナイノデアリマス、主トシテ民事ノ關係ニ付キマシテ、考慮シテ見タイト考ヘテ居ル

次第デ、先程モ一寸申シマシタガ、英吉利ナドニモ其例ガアリマシテ、親シク見聞致シタノデスガ、是ニハ頗ル長イ間ノ經驗ト、ソレカラ訊問ノ方法ニ付キマシテ、頗ル周密ナ例規ト云フモノガ定マッテ居リマシテ、ソレニ依ッテ其手續ヲ實際ニ運シテ居ルヤウナ次第デアリマス、之ヲ其慣行ヲ有セズ、唯タ是ダケ一本ヲ以テ其手續ヲ運バセヤウト云フヤウナコトガ、果シテ吾々ノ豫期致シマスヤウナ結果ヲ齎シ得ルヤト云フコトニ付キマシテ、マダ確信ヲ持ッテ居ナイ次第デアリマス

○高見委員長 ソレデハ今日ノ四案ノ中一案ダケマダ質問ガ殘ッテ、他ノ三案ハ全部質問ヲ終了致シマシタ、次會ハ追テ御通知致シマス、今日ハ是テ、散會致シマス
午後零時十八分散會